

佐野 彰 県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

羽田空港の騒音問題

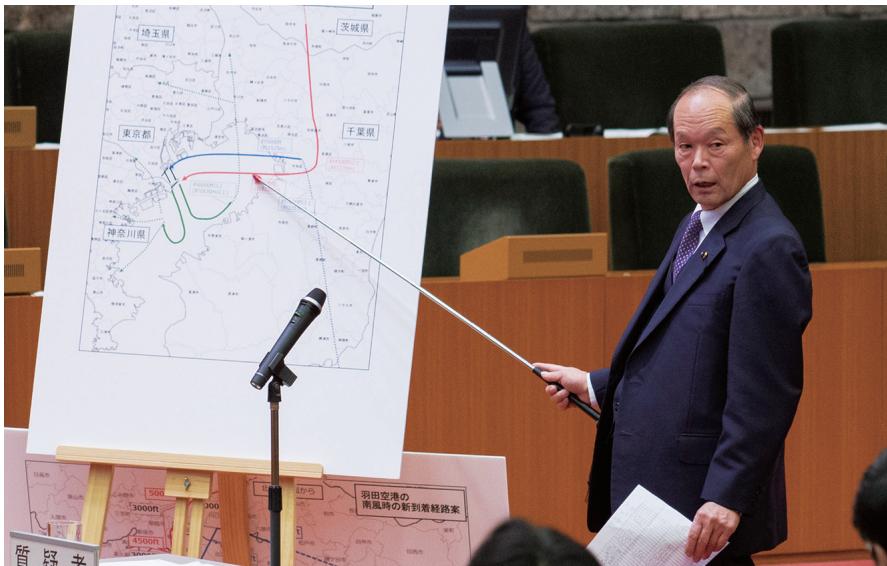
相談会に市民の関心高く

2月県議会予算委員会で質問

県議4期目の半ばを迎える千葉市中央区選出の佐野彰（さの・あきら）県議は、2月定例県議会の予算委員会で質問に立ち、昨年9月議会の一般質問に続いて、羽田空港の航機騒音問題を取り上げ、県議が詰めかけ、羽田の騒音被

害に対する関心の高さが裏付けられました。佐野県議は、さらに航空機が多く飛行する南風ルートにも説明会を開催し、より騒音実態が明らかになるよう要望しました。

このほか、小中学校における「食育」への取り組み状況をはじめ、食生活改善推進員活動の県民への周知や大規模災害時の対応など、佐野県議の予算委員会での主な質疑を特集しました。



羽田空港の飛行ルートを図面で示しながら、千葉市上空の航空機騒音の軽減を求める佐野県議

南風ルート時に再度説明求め！

説明会への参加者

を超える方が来場されました。この相談会に寄せられた意見は、国において取りまとめて、今後公表される予定となっています。

た本県職員が把握した範囲でお答えしますと、来場された方からは、既存の飛行ルートの航空機が、千葉市上空に集中しているが、この意見は、国において取りまとめて、今後公表される予定となっています。

なお、相談会に立ち会つた本県職員が把握した範囲でお答えしますと、来場された方からは、既存の飛行ルートの航空機が、千葉市上空に集中しているが、この意見が出されたところです。

音機の導入促進などの対策を検討するよう、今後とも、千葉市などと連携して、なる騒音軽減に向けた改善策を検討しております。また、千葉市などと連携して、

騒音軽減に向けて

騒音多い南風ルート

佐野彰県議の2月議会の中には、「飛行機の数が去年は少なかつたので、飛行ルートが変更されたのではないか」という人もいたほどです。そこで、南風ルートで多くの飛行機が飛んでいる間に改めて説明会を開催するよう、国に対して要望していくべきではないか。

佐野彰県議の2月議会では、今回の市民相談会で寄せられたご意見のとりまとめて、その結果などを踏まえ、国に対応を検討していくべきだと思います。

佐野彰県議の2月議会では、予算委員会での質疑は、県議会のホームページから「インターネット中継（録画）」で、すべてご覧いただけます。

佐野彰県議の2月議会予算委員会での質疑は、県議会のホームページから「インターネット中継（録画）」で、すべてご覧いただけます。

●県政やまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

佐野彰事務所
〒260-0808 千葉市中央区星久喜町594
TEL.043-261-0123 FAX.043-261-0129

小中校の「食育」大切を訴え!



2月号の県民だよりを開いて、食生活改善推進員の活動について語る

災害時の応援受け入れ体制

佐野委員 先日、県庁で岩手県遠野市の本田市長のお話を伺いました。遠野市は、東日本大震災の大被害を受けた沿岸市町村を支援するため、全国

からの自衛隊や消防等の応援を受け入れる広報拠点として大きな役割を果たされました。

お話を聞き、本県においては、東日本大震災を受けましたが、東北の被災地では、交通網の寸断、通信施設の損壊等により、発

大震災の教訓生かせ

そこで、食生活改善推進員の活動状況について、県民や関係機関に対して、県が積極的に周知を図るべきだと思いますがどうか伺います。

要望 2月の県民だよりアが紹介されていますが、食生活改善推進員の活動をもう少しPRしていただきたい。

保健医療担当部長 厚生省がまとめた「東日本大震災対応録」によると、医療機関と医薬品メーカーなどの連絡体制は、震災後3日でほぼ復旧したとされており、それ以後に安定供給されたものと考えられます。

このため、本県の応援受け入れ計画では、救援部隊、医療救援物資、ボランティアの分野別に、あらかじめ複数の拠点を選定するとともに、高速道路など、被災の状況に応じて柔軟に対応できるような内容としています。

佐野委員 東日本大震災を受けましたが、東北の被災地では、交通網の寸断、通信施設の損壊等により、発

れる体制をあらかじめ構築しておくる必要性を痛感しました。県では、昨年「大規模災害時における応援受け入れ計画」を策定した中で、東日本大震災の教訓が、どの程度生かされているのか、気になりました。そこで、応援受け入れ計画において東日本大震災の教訓を、どのように反映させたのか伺います。

保健医療担当部長 厚生省がまとめた「東日本大震災対応録」によると、医療機関と医薬品メーカーなどの連絡体制は、震災後3日でほぼ復旧したとされており、それ以後に安定供給されたものと考えられます。

このため、本県の応援受け入れ計画では、救援部隊、医療救援物資、ボランティアの分野別に、あらかじめ複数の拠点を選定するとともに、高速道路など、被災の状況に応じて柔軟に対応できるような内容としています。

佐野委員 東日本大震災を受けましたが、東北の被災地では、交通網の寸断、通信施設の損壊等により、発

農業体験による食育

佐野委員 県民が健康で長生きするためには、日々正しい食生活が欠かせません。

そのためには、子供の頃から正しい食習慣を身につける、いわゆる「食育」が大切です

が、近年では核家族化により、家庭での食育力が低下していることから、これに代わって学校の役割が増しています。そこで、伺います。

小中学校における食育への取り組み状況はどうか。

教育長 生涯にわたり、心も体も健康な生活を送れ

これに加え、県では千葉県教育推進計画に基づき、平成23年度から農業系高校などにおいて農業体験を通じた食育活動として、周辺の小中学校の児童生徒を受け入れる取り組みを実施しているところです。

佐野委員 農業体験は非

常に取り組みだと思い

ます。が、特に都市部を中心

に、農業体験等の体験学習

をより多くの小中学校で実施すべきと思うがどうか。

教育長 農業体験につい

ては、地域と連携し、近隣の農家から田畠を借りたり、都市部ではバケツで稻を育てたりするなど、地域の実態に応じた取り組みを各学校で工夫して行っています。

食生活改善推進員の活動周知を

佐野委員 高齢社会において、高齢者の生きがいづくりとともに、地域の担い手として活躍してもらおう

ための学習・技術習得の場として、生涯大学校の意義はますます重

要になっています。

そこで、小中学校から要請があ

れば、卒業生団体などに働

きかけてまいります。

佐野委員 また、陶芸コ

ースの生徒の作品展を見る

機会があり、障害を持った子

どへ寄付しており、今後も障

害者のために、学習成果を生

かせるよう努めてまいりま

す。

佐野委員 野菜をはじめ、花き等の栽培や造園に関する基礎的な知識や技術などを修得して

います。農業体験への補助な

うがどうか。

保健医療担当部長 陶芸コー

スでは、食器等の制作も行

うがどうか。

保健医療担当部長 厚

生のため、食器を作る取り組

みを拡大していくべきと思

うがどうか。

健康福祉部長 陶芸コー

スでは、食器等の制作も行

うがどうか。

保健医療担当部長 厚

生のため、食器を作る取り組

みを拡大していくべきと思

うがどうか。

保健医療担当部長 厚

生のため、食器を作る取り組

みを拡